

地方創生拠点整備交付金事業について

- ▶ 対象事業：アグリパル塩原整備
(道の駅「湯の香 しおばら」地域資源総合管理施設整備事業)

「アグリパル塩原整備」 事業概要

事業名	道の駅「湯の香 しおばら」地域資源総合管理施設整備事業		
事業期間	令和元年度	R1事業費	229,504千円
戦略への位置づけ	1.「雇用」	6.「交流」	
事業内容	<p>■対象施設:道の駅 湯の香しおばら 地域資源総合管理施設「アグリパル塩原」</p> <p>塩原温泉郷玄関口の立地を活かし、地元農産品の付加価値を高める加工・販売等の機能強化等を通じて市外・県外からの集客力の向上を図り、農家の所得向上や施設の自立運営につなげるため、地域資源総合管理施設「アグリパル塩原」を改修</p>		



重要業績評価指標（KPI）の設定・評価

指標		基準値(H30)	R1	R2	R3	R4	R5
道の駅の売上額 [千円]	目標	323,513	323,513	340,000	360,000	380,000	400,000
	実績		227,802	323,421	358,237		
開発した製品の売上額 [千円]	目標	0	0	1,000	2,000	3,500	5,000
	実績		0	13,705	21,343		
道の駅内加工施設雇用者数 [人]	目標	0	0	2	3	4	5
	実績		2	5	6		

KPI達成状況に対する所管課のコメント	<p>【道の駅の売上額】 新型コロナウイルス感染症の流行による観光客の減少に伴う施設利用者の減により、昨年度に続き累計として目標未達となったが、地元の企業等への外商などに力を入れ、昨年度より改善があった。</p> <p>【開発した製品の売上額】 主にカフェで販売しているスイーツやジェラートの商品開発に力を入れ、売上げが好調。</p> <p>【道の駅内加工施設雇用者数】 開発した製品の売上げが好調で、予定より早い段階から人員を多く確保したため目標値を達成している。</p>
KPI達成に向けた指定管理者の取り組み	<ul style="list-style-type: none"> • 田植え・稲刈り体験（5, 10月・参加者累計45名） • ジャガイモ作り体験（4, 7月・参加者累計25名） • トマトフェア（8月） • 野菜の日イベント（北那須産直連絡会主催） • 収穫祭・創業25周年祭（11月・参加者累計200名） • お歳暮ギフトセットの販売（お米セット、リンゴ、キウイ、ジェラートセット、など）
今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> • 改修前から観光客の利用が多かった施設であり、新型コロナウイルスの流行等により、売上げが伸び悩んでいる。今後は新型コロナウイルスの流行が落ち着いた際の対策を事前に練っておき、集客や売上げにつなげる。 • 事業実施主体が法人化した際に代表になった者が経営の中核を担って運営方針を打ち出しているが、法人代表者の後継がない。 • 若者や子育て世代に魅力的な給料体系が打ち出せず、雇用している社員等の年齢層が高い。長期にわたって雇用・育成できるよう、若者が就労したくなる環境を整えることが望ましいが、実現できていない。